

8月20日(土)9:00~12:00 第三回 里山・棚田プロジェクト会議

■活動概要

日 時:平成23年8月20日(土) 9:00~12:00

場 所:北九州市森林組合

参加人数:7名

議題内容:1、スタードームについて 2、箸づくりについて 3、里山祭について

■活動内容

1、スタードームについて

スタードームを作る目的としては、①畑で育てている野菜を這わせるためと、②野外作業を行った時の簡易休憩所を作るためである。

今回は「野研」のスタードームと、トラスト会員オリジナルの竹ドームの2種類について話した。

「野研」のスタードームについては前回の会議でも話題に出ていたため、資料の配布のみ行った。

トラスト会員オリジナルの竹ドームについては道具を持ってきていたため、組み立ててみることになった。会員の指導のもと、全員で組み立ててみたがそれほど人手はかからず、「野研」のスタードームほど組み立ても難しくなかった。そのため目的②に活用できるのではないかと、という考えでまとまった。トラスト会員オリジナルの竹ドームは「バンブーハウス」と名付けられた。

今後はモウソウ竹で作れるか一度試してみる必要がある、という話もあがった。

2、箸づくりについて

前回、トラスト会員が持参した箸をつくる道具を使い、杉と竹を材料に箸を試してみる事となった。

作り方としては、ある程度の長さ、太さに切った木材を能美さんの道具にセットし、カンナで削りながら箸の形をつくっていく。その後、サンドペーパーで削り、油(今回はオリーブオイル)でコーティングして完成。(竹の場合はコーティングはせず、かわりにバーナーの火であぶり、油抜きを行う。)

杉に関しては、木材の目の方向に注意しながらカンナで削ることができれば、だれでも作れる。

竹に関しては、はじめにナタで切り出す段階で表面が水平でなかった場合、カンナで削ってもうまく箸の形に削ることが出来ないということが分かった。しかし、はじめの作業を注意して行えば、カンナで削る作業は杉よりも簡単で、完成した箸はすごくいい味もでていた。

3、里山祭について

本日行った箸づくりを里山祭の中に取り入れてもいいのではないかと意見がでた。竹を伐り出すところから行えば、自分の作った箸に対して愛着がわく可能性がある。

箸づくりの活動を参考にしながら、次回はより具体的に里山祭について考えていく。



バンブーハウスの材料



組み立ての様子



完成した竹箸